

(仮称) 栃木市文化芸術館・文学館基本構想の策定について

1. 趣旨

栃木市は、歴史的な建物が多く、古くからの伝統を持ち、多くの文人・墨客・工芸作家等の芸術家を輩出し、その流れは今も連綿と続く、歴史・文化・芸術の魅力あふれるまちである。

このことは、市民の心豊かな人間性、豊かな自然といった数多くの芸術家等を輩出する土壌があるからこそであり、本市の誇るべき点として、市内外に発信していく必要があるが、歴史・文化・芸術の顕彰の場や収蔵する数多くの美術品、工芸品を展示する場等がないことから、十二分に伝えきれていない状況にある。

そこで、これら数多くの芸術家、文学者、歴史的功労者等の顕彰や、収蔵品の有効活用等を通して市の魅力を発信し、市民一人一人のふるさとへの愛着と誇りの醸成、未来への継承、新たな本市の歴史・文化・芸術を創造することを目的に、「(仮称) 栃木市文化芸術館・文学館基本構想」を策定した。

2. 基本構想検討組織

- ・栃木市文化芸術館等整備検討委員会・検討部会【市職員で構成：各14名】
- ・栃木市文化芸術施設等整備専門者会議【専門者で構成：7名】

○策定に当たっては、下記の団体やパブリックコメントにより、市民からの意見聴取を実施。

- ・文化振興計画推進懇談会【学識経験者・各種団体・公募委員等で構成：34名】
- ・栃木市文学館を考える会【山本有三・吉屋信子・柴田トヨの顕彰3団体で組織】
- ・パブリックコメント

【H28.2.18～3.18までの1ヵ月間。詳細は市ホームページに掲載予定。】

3. 主な内容

- ・『とちぎの歴史・文化・芸術を、みんなで楽しみ・広め・創る拠点
～「未来へつなぐ とちぎの歴史 文化・芸術の創造」～』
をコンセプトに策定。
- ・(仮称) 文化芸術館及び(仮称) 文学館は旧栃木市役所本庁舎跡地(約8,000㎡)内に整備するものとし、そのほか、敷地内に観光イベントやワークショップ等に活用できる屋外休憩スペースや大型バス等が駐車できる駐車場なども整備する。

【(仮称) 文化芸術館】

- ・美術館機能を担い、市ゆかりの芸術家等の作品展示や企画展・巡回展、市民の芸術活動の発表等を行うことができる新築の施設とし、全体の床面積は3,000～3,300㎡を目安に検討する。
- ・常設展示室、企画展示室、市民ギャラリーなど展示室全体の床面積は約1,000㎡、収蔵庫の床面積は、常設展示室、企画展示室を合わせた床面積の半分程度を目安に検討する。

【(仮称) 文学館】

- ・主に資料館として文学者等の紹介と市の通史資料の展示機能を担う施設とし、旧栃木市役所別館を改修し活用する。

4. 今後のスケジュール

- ・平成28年・29年度 基本計画策定、基本設計・実施設計
- ・平成30年～32年度 本体工事及び外構工事

栃木市教育委員会生涯学習部文化課
文化施設整備係 成松・藍田
電話 0282-21-2499